



江東区大雨浸水

下水道及び排水機場の
処理能力を超える豪雨により
浸水したときの災害避難地図
(想定し得る最大規模)
ハザードマップ

(内水)

浸水の深さ

避難に関する情報

江東区は、荒川の水位や上流の雨、今後の見通しから内水による氾濫だけでなく洪水などの風水害に備え、警戒レベルに応じた避難情報等を以下のとおり発令します。

緊急安全確保

災害が発生又は切迫している状況です。
命を守るための最善の行動をとりましょう。

警戒レベル
5

避難指示

速やかに避難先へ避難しましょう。
避難場所までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

警戒レベル
4

高齢者等避難

避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児など）とその支援者は避難をしましょう。
その他の人は、避難の準備を整えましょう。

警戒レベル
3

大雨・洪水・高潮注意報

避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。

警戒レベル
2

早期注意情報

災害への心構えを高めましょう。

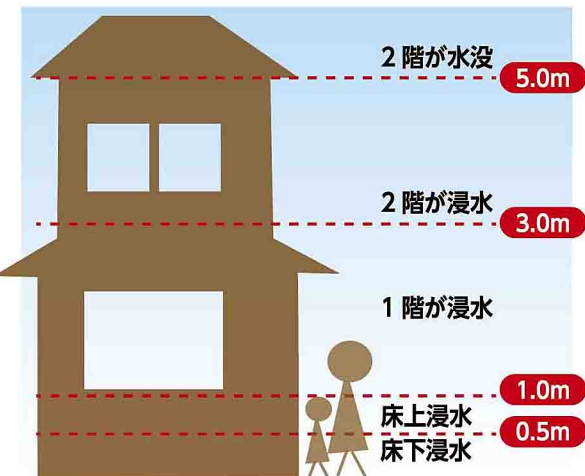
警戒レベル
1

※「警戒レベル5相当、警戒レベル4相当、警戒レベル3相当」など、この「相当」が付く情報は江東区が発信したものではなく、水位や警報の情報をもとに国・マスコミなどが発信しているものです。「警戒レベル〇相当」という表現があっても、江東区から必ず避難指示などを発表するわけではありません。雨や河川の情報を総合的に判断し、発信します。



江東区の防災情報 川の防災情報

浸水深と家屋の関係



凡例【大雨浸水(内水)】

- 避難先
● 主な公共施設
- 浸水深(想定最大規模)
 - 5.0m 以上
 - 3.0m～5.0m 未満
 - 1.0m～3.0m 未満
 - 0.5m～1.0m 未満
 - 0.1m～0.5m 未満
- 色覚障害のある人へ配慮した配色としています。
※色合いを変えたものを江東区ホームページに掲載しています。
- 水害時、特に危険となる箇所
アンダーパス
- アンダーパスとは
周辺より低く水が溜まりやすい
ため注意が必要な箇所

命を守る 緊急手段 垂直避難

ご自身の建物・最寄りの避難先
(マップに●マークがついている施設)の
想定される浸水深より高い場所に避難



江東区 一時避難施設

※水害から緊急的に身を守るために、江東区は一時避難施設を指定しています。地図で示している公共施設のほかに、協定により民間企業による施設も指定していますので、江東区公式ホームページなどを確認しておきましょう。



およその距離と 時間を測ってみよう

1000m
1000m歩くのに、
15分が目安です。
1000m歩くのに必要な時間は、
およそ15分が目安です。ただし、
渋滞の発生や、ご自身の体力が
あります。およその距離を測り、
必要な時間を把握し、余裕を
持った避難を心がけましょう。



江東区観光キャラクター
「コトミちゃん」

このハザードマップは、
以下の資料に基づき改定しています。

隅田川及び新河岸川流域 浸水予想区域図 [想定最大規模]

作成主体 : 都市型水害対策連絡会
(隅田川・新河岸川流域)
作成年月日: 令和3年3月30日

江東内部河川流域浸水 予想区域図 [想定最大規模]

作成主体 : 都市型水害対策連絡会
(江東内部河川流域)
作成年月日: 令和2年3月26日

対象とした降雨: いずれも想定最大規模降雨
(時間最大雨量 153mm)
(総雨量 690mm)

わが家の水害対策メモ 日頃から家族の緊急連絡先や避難行動について話し合ひましょう。

わが家の避難できる場所

家族のメモ

名 前	血液型	電話番号	持病等

1 : 25,000

0 0.25 0.5 1 1.5 2 km

江東区の水害リスク

水害リスクを知りましょう

江東区は、戦前から工業地帯として発展し、工業用水として地下水をくみ上げたことにより地盤が沈下しました。特に江東区、墨田区及び江戸川区の一部は江東三角地帯と呼ばれており、この地帯は満潮時の海水面より低いため、海拔ゼロメートル地帯とも呼ばれています。

現在の江東区は周囲を堤防などで囲い、更に内部河川の水位を調整する治水対策が取られています。しかし、河川の堤防が決壊することで起こる洪水氾濫(外水氾濫)や発達した低気圧により海面が上昇し、風によって海水が吹き寄せられる高潮氾濫及び集中豪雨などにより下水道及び排水機場による排水処理が追いつかず地表に水がたまる内水氾濫といった水害リスクがあります。

集中豪雨などによる水害は全国各地で発生しており、江東区においても過去には浸水や冠水といった被害が確認されています。

一人ひとりが自らの命や家族の命を守るため、また地域を支える事業継続のために、災害時に必要な行動ができるようにあらかじめ検討しておくことが重要です。この「江東区大雨浸水(内水)ハザードマップ」などを使って、家族や地域、職場の方々と一緒に話し合い、水害について考えてみましょう。



昭和33年7月23日
台風第11号被害状況(城東地区)
浅間小学校付近の浸水状況

内水氾濫とは

市街地に降った大雨が地表にたまる

洪水氾濫(外水氾濫)や高潮氾濫に対して、集中豪雨により下水道などの処理能力が追いつかなくなり、平常時に下水道や排水機場により排水処理している雨水が地表にたまってしまふことを内水氾濫といいます。

東京都のような都市では内水氾濫による被害額が外水氾濫などを上回っており、より一層の注意が必要です。



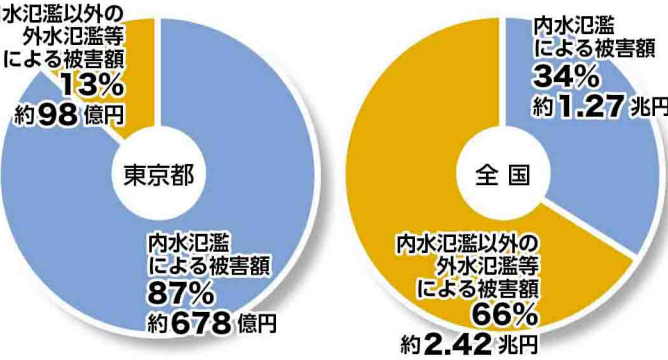
内水氾濫による浸水
中心市街地などが局所的・短時間に浸水
対策:雨水を市街地から排除・貯留する管やポンプ場を整備



外水氾濫による浸水
河川周辺の広範囲な区域が浸水
対策:河川から水が溢れないように堤防を整備

外水氾濫等と内水氾濫の被害額の割合

注)2010年から2019年にかけての10年間の合計



出典:水害統計調査より集計

江東区内の水害対策

まちを守る対策をしています

ハード対策

現在、江東区では下水道は100%普及していますが、更に、集中豪雨による内水氾濫に対応するため、下水道の整備改善が進められています。排水機場も整備され、区内の河川や運河の水位上昇を抑えています。

また、洪水氾濫(外水氾濫)や高潮氾濫による被害を防ぐため、堤防、防潮堤、水門及び陸こうが整備されています。

江東区の水辺の歴史や水害の記録、整備事業などをもっと知りたい方は「まちの記憶と未来展」をご覧ください。



ソフト対策

災害時に命を守るために各種リスク情報が公開されています。江東区が作成しているハザードマップもそのリスク情報のひとつです。いざという時の迅速な避難のために、日頃から情報収集や検討を進めておきましょう。

●河川情報

国土交通省が提供する「川の防災情報」などがあります。

●気象情報

気象庁が提供する「ナウキャスト(雨雲の動き・雷・竜巻)」や、「キキフル(危険度分布)」などがあります。

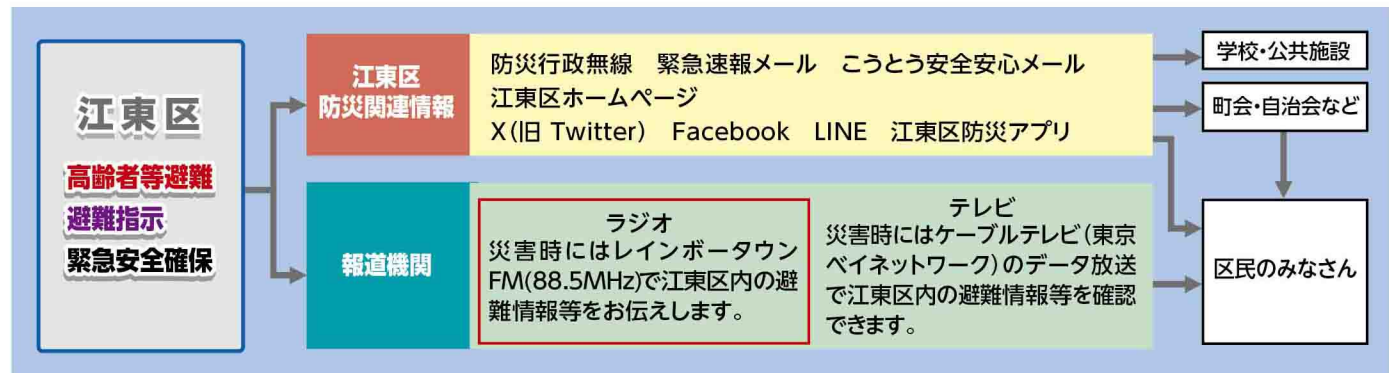
●防災情報

江東区が提供する「水害ハザードマップ」などがあります。大雨浸水(内水)だけでなく、洪水及び高潮のハザードマップも作成していますので、江東区公式ホームページをご覧ください。

災害時の情報入手先

避難のタイミングを判断しましょう

災害時には自ら情報を収集し、避難を判断する必要があります。各関係機関から判断に必要な情報を収集し、早めに避難しましょう。また、江東区からも避難情報が発信されますので、情報の入手方法を確認しておきましょう。



各種情報について

- 各自で情報収集を行いましょう!
- 日頃から情報の入手先を確認しておきましょう!

- 江東区の詳しい情報が欲しい
- 地域の細かい状況を知りたい



FM ラジオ・ケーブルテレビ

レインボータウンFM(88.5MHz)では、区からの避難情報や、区内の状況を放送します。ケーブルテレビ(東京ベイネットワーク)のデータ放送では、防災行政無線の放送内容やこうとう安全安心メールの配信内容を確認することができます。

- 江東区以外の地域の情報も欲しい
- 計画運休などの最新情報が欲しい



●東京都全体の雨情報が見える

東京アメッシュ

アメッシュ

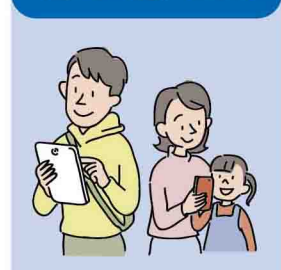
東京都全体の雨雲の様子や雨量の強さが確認できます。また、2時間前からの移り変わりや、警報・注意報も確認できます。

●各種路線の運行情報を一度で確認

Yahoo!JAPAN 路線情報運行情報

yahoo 路線

- アプリやSNSなどを利用して、多くの情報を集め、避難の判断をしたい



東京都防災アプリ

気象情報、避難情報などをプッシュ配信。災害時に必要な情報を素早くキャッチできます。その他、安否連絡・登録、多言語で支援を求める際の会話集、防災マップなどの機能があります。

江東区防災アプリ

各種ハザードマップを確認できるほか、避難所の開設状況の確認や、避難所までの経路案内などの機能があります。

X エックス(旧 Twitter)	① @koto_bosai 【江東区防災関連情報】 ② @city_koto 【江東区政全般】
Facebook フェイスブック	@city.koto 【江東区】
LINE ライン	@city_koto 【江東区】

日頃からの情報収集



Q まちの記憶と未来展 検索 Q 江東区水害ハザードマップ(3種類) 検索 Q ナウキャスト 検索 Q キキフル 検索 Q 川の防災情報 検索

ハザードマップの使い方

3つの情報を確認しましょう

1 自宅や職場が浸水範囲に入っているか確認

- 想定される浸水深と居室の高さを比較します。
 - 居室より浸水深が深ければ、避難が必要です。
- ※実際の災害時には、内水氾濫だけでなく洪水や高潮による浸水も想定されます。想定より深い浸水深となるおそれもありますので、状況に応じた対応を検討しておきましょう。



2 避難先を確認

- 自宅が無事・安全で食料などの備えが十分であれば、在宅避難も選択肢になります。
 - 親戚・知人宅への避難やホテルなどの民間宿泊施設への避難も検討します。
 - 最寄りの公共施設(区立小・中学校等)などに避難することを考えます。
- ※避難先を複数検討しておくことが重要です。



3 避難先までの経路を確認

- 災害時は原則徒歩避難で。
- 経路上にアンダーパスなどの危険箇所がある場合は別の経路を検討してください。
- あらかじめ経路を歩いて危険なものがないか確認してみましょう。



避難とは

避難とは「難」を「避」けることです。避難先に行くことだけが避難ではありません。自宅が安全であれば在宅避難も選択肢のうちのひとつです。

災害への備え

今日からできることを確認しましょう

●自助・共助・公助

災害への備えを考える時、自助・共助・公助の3つに分けることができます。「自助」とは、災害が発生したときに、まず自分自身や家族の身の安全を守ることです。また、家具の転倒防止などの備えも「自助」に含まれます。いざという時のための対策として、日頃から出来る「自助」を行いましょう。「共助」とは、地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合うことをいいます。そして、区や消防、警察、自衛隊といった公的機関による救助・援助が「公助」です。

●水害に備えた事前の心構え

もしもの時の緊急避難に必要なものをまとめた「非常持出袋」や、自宅で避難生活する際に必要な食料を日常備蓄しておきましょう。日頃から自宅で利用しているものを少し多めに備える「ローリングストック」で、災害時に自宅で生活する在宅避難に備えましょう。

非常持出袋の内容(例)



ローリングストックの考え方

食べ物や日用品を少し多めに購入、日常生活で消費



乳幼児・高齢者がいる家庭
オムツ・常備薬など

女性の場合
生理用品など

非常時に特に必要なもの



●マイ・タイムライン

マイ・タイムラインは区民一人ひとりの行動計画です。これは水害リスクが高まっている時などに、自分自身が行う標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるものです。

水害発生時に、行動のチェックリストとして、また判断のサポートとして活用し、「逃げ遅れゼロ」を目指しましょう。ご自身や家族の状況からマイ・タイムラインを考えておきましょう。

	大雨前の備え	避難前に確認すること	避難時に注意すること
状況	今回の台風は大型らしい。関東にも近づくみたいだし、情報を集めないと。	このままじゃ、台風が直撃だな。うちは浸水が想定されるから準備を確認しないと。	避難に関する情報が江東区から発信されたぞ。早く逃げよう。
避難情報等	警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3
行動例	<災害に備えて準備> ・ハザードマップで自宅のリスクを確認 ・避難情報等の入手方法の確認 ・台風の進路、雨の降る時間帯の確認 ・家族の行動予定を確認 ・携帯電話の充電 ・食料の確認、買い出し ・強風の対策 ・土のう・止水板の準備	<避難行動の確認> ・避難者の避難に時間を要する方・地下施設にいたり、河川の近くにお住まいなど、身の危険を感じる方<災害が発生したら> ・安全な場所への避難など、命を守る最善の行動 ・直ちに身の安全を確保 [水平避難] ・近隣の要支援者へ声掛け ・最寄りの公共施設などへ移動 ・安全な場所にある親戚・知人宅へ移動 [垂直避難] ・自宅の上の階など、安全な場所へ移動	

避難所へ避難する場合の感染症対策

避難所へ避難する場合、感染症リスクに配慮して、下記の協力をお願いします。また、感染症対策に関するものも日常備蓄として平時から準備しておきましょう。

- 避難所へ行く前に自身の健康状態の確認をしましょう。
- マスクの着用やこまめな手指消毒を徹底しましょう。
- できるだけ一定の身体的距離を確保しましょう。
- トイレなど共用の施設をきれいに使いましょう。
- 発熱などの症状のある方は避難所の職員や管理者へ連絡しましょう。

ペットと同行避難

災害時にペットと同行避難をする場合、飼い主は責任をもって、ペットの世話をするために、万一の事態を想定した準備が必要です。

- 基本的なしつけ
- 健康管理
- 迷子札などの身元表示
- ペット用品の備蓄
- 預け先や避難先の確認



地下街利用時などの注意点

水害時に危険な場所を知っておきましょう

大雨の際に地下施設や周辺より低くなっている道路(アンダーパス)などは、あっという間に浸水する可能性があるため、避難の時には、十分に注意しましょう。

水害時、特に危険な場所

! 地下施設の危険性



! 道路などでの危険性



地下施設の浸水状況は、地上より深くなるおそれがあるため注意が必要です。